

令和8年度 八王子市立第五中学校

評価の観点・趣旨・主な評価材料・観点の割合
について

令和 8 年度 評価・評定について

平素は本校の教育にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

東京都教育委員会ならびに八王子市教育委員会の指導の下、評価・評定につきましては、生徒一人一人の学習の実現状況を適確に把握し、「目標に準拠した評価」による観点別学習状況評価をおこなっています。

学習評価は、それぞれの生徒の学習の実現状況を把握し、学習活動を励まし、意欲や能力を伸ばすためのものです。各教科については、学習状況を分析的に捉える観点別学習状況の『評価』と、それらを総括的に捉える『評定』とを、学習指導要領に示されている目標に照らしておこなっております。

以下が評価・評定の方法です。

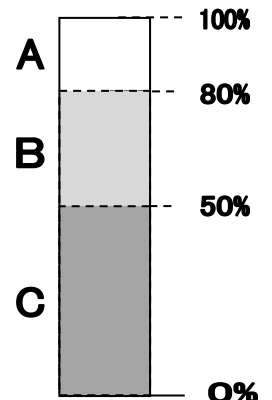
【評価】（観点別学習状況の評価）

学習指導要領の定める、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科等の目標や内容を設定します。併せて、観点別学習状況の評価の観点についても、この資質・能力の三つの柱に基づく「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A・B・Cの3段階で表示します。

A・・・「十分満足できると判断されるもの」
B・・・「おおむね満足できると評価されるもの」
C・・・「努力を要すると判断されるもの」

評価	A	B	C
達成度	80%以上	50%以上 80%未満	50%未満

観点の評価
基準の例



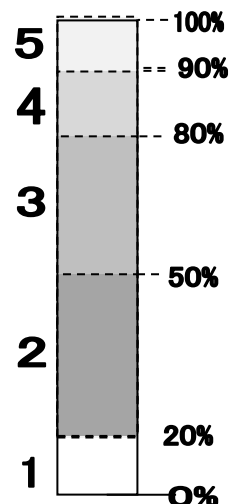
【評定】（各観点別評価の総括）

教科の観点別の評価から統括的に評定するものです。各観点の重みに差をつけません。各教科の評定は、5・4・3・2・1の5段階で表示しています。

評定 5・・・「特に高い程度で、十分満足できると判断される」
4・・・「十分満足できると判断される」
3・・・「おおむね満足できると判断される」
2・・・「努力を要すると判断される」
1・・・「一層の努力を要すると判断される」

評定	5	4	3	2	1
総合的な 達成度	90%以上	80%以上 90%未満	50%以上 80%未満	20%以上 50%未満	20%未満

各観点の
評価から
評定への
総括の例



* 到達度については、全教科を統一しています。

* 以下の掲載している各表は、評価の観点及び、評価する課題などをまとめたものです。

国語科（「書写」を含む）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能について理解し、適切に使うことができる。	言語を手掛かりとしながら、論理的に思考したり豊かに想像したりする力を養い、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高める。	読む・書く・伝え合うなどの国語的活動の楽しさに気づいて粘り強く考え、言葉が持つ価値に気付くとともに、言葉を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度が見られる。
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ ワークシート※ ・ 小テスト ・ 作文、作品等の課題※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ グループ活動、発表活動※ ・ ワークシート※ ・ 小テスト ・ 作文、作品等の課題※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の活動の様子※ ・ 単元ごとの振り返りの記入状況※ ・ ワークシート※
割合			

※の評価材料については、記述や発表内容、表現等が授業で示す評価基準を満たしているかどうかで評価を判断します。

社会科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に粘り強く解決しようとしている。
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 小テスト ・ ワークシート※ ・ ノート※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 振り返りシート※ ・ ワークシート※ ・ ノート※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 振り返りシート※ ・ ワークシート※ ・ ノート※
割合			

※ワークシート、ノート、振り返りシートは提出をもって評価とせず、取組や振り返りの状況などから学習目標を達成しているかを評価とします。

※ワークシート、ノート、振り返りシートにおける、学びのプロセスを見取り、自己評価や相互評価などを通じて自己調整しているかを評価

数学科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	<p>・正負の数, 文字式, 方程式, 図形, 関数, データの分布と確率, 数の平方根, 数学的な推論, 標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>・事象を数理的に捉えたり, 数学的に解釈したり, 数学化したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>・数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察・表現したりする力, 図形の性質や関係を論理的に考察・表現する力, 数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし, その特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 複数のデータの分布や母集団と標本の関係などに着目し, その傾向を読み取り考察・判断したりする力を身に付けている。</p>	<p>・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って検討・評価・改善しようとしたり, 多様な考えを認め, 1つの問題をよりよく解決しようとしたりする態度がみられる。</p>
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト ・レポート等※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト ・レポート等※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・小テスト ・問題集※ ・学びの軌跡※ ・レポート等※
割合	1	1	1

※答えを写すだけの作業や提出したことを評価するわけではありません。

○例えば、正解した問題でも、他の解き方や表現の仕方がないか考え、それぞれの特徴を比べてより良い解き方がないか探求するなどの工夫が見られる活動になっている。

○例えば、間違えた問題は、正解を確認しながら直しをするとき、何が間違いにつながってしまったのか、自分の言葉で表現し、間違えないための対策や方法をはっきりさせ、同じ間違いをしないように自己調整している。

理科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって学習に取り組むとともに、観察、実験や課題解決に粘り強く向き合ったり、その過程を振り返って改善をしようとしたりする態度が見られる。
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験観察における技能 ・ レポート ・ 提出物の記述内容（ノート、ワーク等）※ ・ 技能テスト ・ 小テスト ・ 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験観察における考察等 ・ レポート ・ 提出物の記述内容（ノート、ワーク等）※ ・ 小テスト ・ 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や実験・観察の計画、ふり返り ・ レポート ・ 提出物の記述内容（振り返りシート等）※ ・ 小テスト
割合			

※ワークシート、ノート、振り返りシートは提出をもって評価とせず、取組や振り返りの状況などから学習目標を達成しているかで評価とします。

音楽科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に粘り強く取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しみ、自ら調整していく態度を養う。
主な評価材料	・実技テスト ・ワークシート ・定期テスト	・実技テスト ・振り返りシート ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	・授業での様子や活動の姿勢 ・振り返りシート ・課題の取り組み状況 ・小テスト
割合	1	1	1

※ワークシートにおいては課題発見と解決策、生徒の変容を見て評価します。

粘り強さ

歌唱・創作等で、表現を改善しようと繰り返し練習する姿
 (例:音程やリズムが合うまで何度も練習する、フレーズの歌い方を試す)
 鑑賞で、曲の特徴をつかむために繰り返し聴こうとする姿
 (例:気づいた点をワークシートに追加しながら聴き直す)

自己調整する力

自分の演奏・歌唱を振り返り、改善点を見つけて修正しようとする行動
 鑑賞で、自分の感じ方や気付きを整理し、他者の意見を踏まえて考えを深める姿

美術科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の造形活動や表現をする喜びを味わい、主体的に制作へ挑もうとしている。 立体や平面の表現及び鑑賞といった幅広い学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞のグループワークで、他者の意見を受け入れ、取り入れようとしている。
主な評価材料	・定期考査 ・作品…作品全体の色や形、構図などの完成度で判断する(下記)。	・定期考査 ・アイデアスケッチ ・作品…アイデアスケッチをもとにした達成度で判断する ・ワークシート ※ワークシート(作品、鑑賞) …文章の内容等で判断する。	※ワークシート(作品に関するもの)…アイデアのデザイン及び数、学習内容等の達成度で判断する。 ・学習活動に対して自己の表現を自ら調整し、粘り強く制作に向かう姿勢。
割合	1	1	1

※記入の内容がこちらの示す評価基準を満たしているかどうかで判断する。

★定期考査…ワークシートや教科書から出題(知・技)とワークシートやデモンストレーションから出題(思・判・表)。

特に絵の得意不得意に関係ない、描写技法について出題します。

★作品…全体の完成度、技法、表現、塗り、テーマの5観点で評価します(知・技)。

・全体の完成度は画面の満足度、余白についてなど、授業態度を見ずに一作品として評価します。

・技法は指定した描写方法について理解して、実際に行っているか。

・表現は画面の構図や、色彩などを自分の表現するものを選択しているか。

・塗りはアクリル絵の具や色鉛筆、水墨など理解して、丁寧に制作しているか。

・テーマについてはアイデアスケッチと比べて評価します。※下記に詳細

★アイデアスケッチ…自分自身で制作の難易度を選択します。アイデアスケッチ通りに制作できているか、作品のテーマの評価に値します。制作計画が練られているか、道筋を立てているかどうか。

保健体育科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対し、粘り強く取り組み、健康安全に留意し、それらの学習を通して自己の健康の保持増進について取り組んでいる。
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト ・授業中の活動の様子 ・定期テスト ・学習ノート、ワーク ・単元のテスト ・学習カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動の様子 ・定期テスト ・学習ノート、ワーク ・単元のテスト ・学習カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み姿勢※① ・課題の取り組み状況※① ・学習ノート、ワーク※② ・単元のテスト ・学習カード
割合			

※①学習の取り組みを自己調整し、課題を解決するための粘り強さ等を授業や課題で評価をします。

※②学習ノート、ワークについては記入の内容についてこちらが示す評価基準を満たしているか、

学習カードでの振り返りについてはP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)の観点から内容を見て評価します。

技術・家庭科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	<p><技術> 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解している。</p> <p><家庭科> 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p><技術> 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を身に付けている。</p> <p><家庭科> これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p><技術> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p><家庭科> 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 *ワークシート *レポート **作品 **実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 *ワークシート *レポート **作品 **実習 	<ul style="list-style-type: none"> *ワークシート *レポート **作品 **実習
割合			

*ワークシート・レポート

- ・問いに対して自分の考えを書けているか。
- ・理由や根拠をもとに説明しようとしているか。
- ・授業内容を踏まえて振り返りができているか。

単に“提出したか”だけでなく、評価規準と照らし合わせ、どのように考え、取り組んだかを重視します。

**作品・実習

- ・安全な用具の使い方や基本的な調理・製作の技能が身に付いているか。
- ・目的に応じて工夫しているか、なぜその方法を選んだか説明できるか。
- ・準備や片付け、協力、振り返りなどに主体的に取り組んでいるか。

技術家庭科は、社会に出てから必要な力（段取り・協働・改善等）を育てる教科です。

英語科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、粘り強く考え、外国語を用いてコミュニケーションを図ったり、発表や英文作成、評価・改善しようしたりする態度が見られる。</p>
主な評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・スペリングコンテスト ・単元テスト ・リスニングテスト ・発表(スピーチ、プレゼンテーション) ・ワークシート ・2文テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・リスニングテスト ・発表(スピーチ、プレゼンテーション) ・ワークシート等 	<ul style="list-style-type: none"> ☆言語活動の様子 ・発表(スピーチ、プレゼンテーション) ☆ワークシート ・小テスト ☆授業レポート ☆テスト振り返りレポート ☆単元振り返りシート等
割合	1	1	1

☆については、授業内で示される評価基準を満たしているかどうかで判断します。

各プリントや発表時に評価規準を示しております。

○授業レポートでは、授業で扱った英文や文法に加えて、学習した文法を踏まえて自分自身で英文を作成したり、類義語や疑問に感じたりしたことを記入している。

○テストの振り返りレポートでは、間違えた問題に対して何が間違いに繋がってしまったのかを分析したり、出題されている箇所のポイントを自分自身で表現したりし、同じ間違いをしないように自己調整をしている。

○音読練習では、繰り返し音読練習をし、録音したものを聞いたり、振り返ったりしてよいよく読むために粘り強く取り組んでいる。